総　論
計画策定にあたって

計画の性格と役割

「総合計画」は、すべての分野における行財政運営の基本となる地方自治体の“最上位計画”で、合併時に作成した新市建設計画を踏まえ、今後の本市のまちづくりの方向性を示すもので次の役割を持ちます。

- 市民みんなのまちづくりの共通目標となるもの
- 地方分権※時代の総合的な地域経済の指針となるもの
- 広域行政に対する西予市の主張を提示するもの

計画の構成と期間

本計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成されています。

基本構想

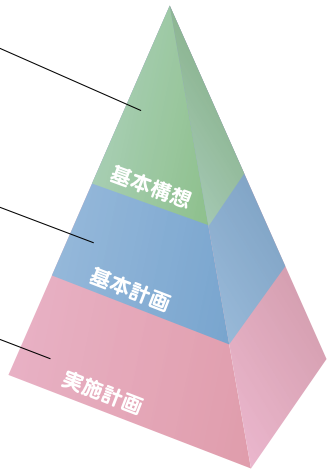
基本構想は、本市の特性や市民ニーズ※の動向、時代潮流などを総合的に勘案し、本市が目指す将来像と、それを実現するための基本目標や施策の大綱、重点プロジェクト※などを示すものです。

基本計画

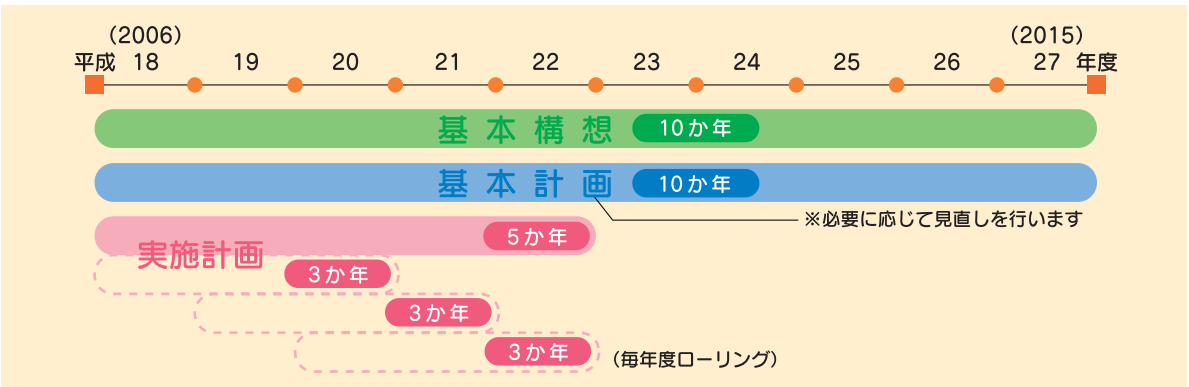
基本計画は、基本構想に基づき、今後取り組むべき主要施策を行政の各分野にわたって体系的に定めるものです。

実施計画

実施計画は、基本計画に示した主要施策に基づき、具体的に実施する事業を定めるものであり、前期5か年分を別途策定します。その中で3か年分について事業の優先順位や具体的な事業内容、財源などを示し、予算編成の指針となるものを作成し、ローリング方式※により毎年見直しを行い、総合計画の進行管理を行います。



■各計画の期間



※地方分権／権力を中央統治機関に集中させずに、地方の自治団体に広く分散させること。
※ニーズ【needs】／必要。要求。需要。
※重点プロジェクト／西予市の将来像の実現を図るため、5つの各分野の施策を横断的に取り組むとともに、現在の課題を発展的に解決していく事業。
※ローリング方式／実施計画に毎年度修正や補完などの見直しを行うことにより、変化する社会、経済情勢に弾力的に対応するシステム。

総　論
西予市の特性・ニーズと発展課題

西予市の特性

- 特性1　臨海部から山間部まで変化に富んだ地形を有し、美しく豊かな自然環境・景観を誇るまち
- 特性2　南予の中心に位置し、高速交通網の整備進展により発展の可能性が高まりつつある広域交流拠点のまち
- 特性3　それぞれの地域特性に即し、多種多様な産品を生み出す農林水産業のまち
- 特性4　多彩で豊かな観光・交流資源を有し、多くの人々が行き交う魅力あるまち
- 特性5　自主的なコミュニティ※が育まれ、住民活動が活発なまち

新たなまちづくりへの市民ニーズ※

(1)市への愛着度と今後の定住意向

愛着を“ 感じている ”　82.2%　　市に“ 住み続けたい ”90.0%

(2)市の現状評価について

［満足度が低く重要度が高い項目］

1位 保健・医療サービスや施設整備の状況
2位 道路の整備状況　　4位 下水道等の整備状況
3位 働きがいのある職場　　5位 交通機関の便利さ

(3)まちづくりで今後重視すべき分野

1位 活力に富む産業のまちづくり　46.5%
2位 地域で支える健康と福祉のまちづくり　45.7%
3位 快適で便利な生活のまちづくり　45.3%

(4)重点的に取り組むべき施策

1位 医療体制の充実 47.1%　　4位 高齢者福祉の充実 37.1%
2位 若者の定住促進のための施策 42.3%　　5位 道路網の整備 30.4%
3位 就労の場の拡充 41.0%

西予市を取り巻く時代潮流

- 時代潮流1　本格的な地方分権※時代の到来
- 時代潮流2　住民参画※・協働※の時代の到来
- 時代潮流3　予想を上回る少子高齢化の進行
- 時代潮流4　“ 環境の世紀 ”の到来
- 時代潮流5　高度情報化・国際化の一層の進展
- 時代潮流6　産業を取り巻く環境の急速な変化
- 時代潮流7　成熟化社会への移行
- 時代潮流8　求められる“ 共生社会 ”の実現
- 時代潮流9　高速交通網の整備進展

西予市の発展課題

発展課題1

南予の広域交流拠点としての新たな交流と定住を支える基盤づくり

発展課題2

環境と健康を重視した、だれもが元気で安心して暮らせる住みたくなるまちづくり

発展課題3

明日の西予市を担う心豊かで創造性あふれる人材の育成、貴重な歴史文化資源のまちづくりへの一層の活用

発展課題4

多種多様な産品を生み出す農林水産業を柱にした、特色ある自立した産業構造の確立

発展課題5

住民と行政とが心をあわせた協働のまちづくり、それぞれの地域が輝くまちづくりの推進

※コミュニティ【community】／居住地域を同じくし、利害をともにする共同社会。町村・都市・地方など、生産・自治・風俗・習慣などで深い結びつきをもつ共同体。地域社会。
※ニーズ【needs】／必要。要求。需要。
※地方分権／権力を中央統治機関に集中させずに、地方の自治団体に広く分散させること。